

制御盤の電気試験

EN/IEC 60204-1、JIS B 9960-1

まずは見積から、お気軽にお問合せ下さい

概観図、電気図面を送付ください。

見積書を作成提出いたします。

ご発注、試験日程確定後……

試験実施日までに、部品番号表示（CP1、M1等）をお願いいたします。

試験前日、または当日朝に、試験機材一式が届きます。受取、保管をお願いいたします。

ヘルメット、安全靴等が必要な場合は、ご準備をお願いいたします。

試験当日

試験機器用の電源 AC100V を使わせていただきます。必要に応じて、延長コードをご準備をお願いいたします。

試験ポイントとなる部品の実装場所を発見できなかった場合、お尋ねする場合があります。（例：CP1603はどこに？）

(1) 残留電圧測定	主電源のオン/オフを、数回くりかえしお願いします。	残留電圧の測定を行います。
(ご要望にて) 機能試験	機械、装置の初期化・リセットを、数回くりかえしお願いします。	機能試験を実施します。非常停止ボタン押下、インターロック動作、等行います。
(ご要望にて) アース電流測定	通常運転をお願いします。	アース電流をクランプメーターにて測定します。
(ご要望にて) 騒音レベル測定	通常運転をお願いします。	機械指令に関連する騒音レベル(dBA)を測定します。
(2) アース導通試験	主電源をオフし、オフの状態を維持願います。	筐体—保護アース端子間に 10A の電流を流します。
(3) 絶縁抵抗測定	試験前に、DC500V の対接地耐電圧のない部品、保護器等を外してください。	DC 500V メガーテスターで高電圧部分（電源ラインなど）の対接地間の絶縁抵抗を測定します。
(4) 耐電圧試験	試験前に、AC1000V の対接地耐電圧のない部品、保護器等を外してください。	高電圧部分（電源ラインなど）の対接地間に、AC1000V を印加します。
(試験完了)	外した部品をもとに戻し、動作確認をお願いいたします。レポートに記載の装置名、製造番号、試験ポイントの名称の確認等をお願いいたします。	1面程度の規模の場合、当日中にレポートが完成します。（装置・機械によります。）
(機材返送)	配送業者へのご指示をお願いいたします。	配送の手配、伝票の貼り付けは、当方で行います。

早い場合、即日レポート完成します。（通常 2 日後、装置・機械によります）

**ASSIST
ACE**

アシスト CE 株式会社

<http://www.assistce.co.jp>

〒143-0011 大田区大森本町 1-9-7-101

担当：渡辺 まで、お気軽にご連絡ください。

メール：assistce@assistce.co.jp

電話：050-5897-7576

制御盤の電気試験



W 520 × D 470 × H 170

約 11kg

騒音計、ケーブル、雑品

W 520 × D 470 × H 290

約 15kg

オシロスコープ、メガーテスター

W 520 × D 470 × H 170

約 16kg

アース導通試験器

W 520 × D 470 × H 315

約 24kg

耐電圧試験器

残留電圧測定	電源を切り離れた後の残留電圧が、5秒以内に60V以下になるかを測定します。(露出するプラグピンは1秒以内)ただし、充電電荷60 μ C以下は対象外です。IP2XまたはIPXXB(指が触れない)で保護されている部分は対象外です。
騒音レベル測定	機械指令の表示要求により騒音レベルを測定します。70dB(A)、80dB(A)、130dB(C)を超えないか測定します。80dB(A)を超えると、A特性音響パワーレベルの表示が必要になります。
アース導通試験	筐体と保護アース端子間に10 Armsを流し、抵抗値を測定します。測定間の長さ・断面積・抵抗率による予測の範囲内か確認します。(通常0.1 Ω 以下)
絶縁抵抗測定	500Vメガーテスターにて電力回路と保護アース端子間の絶縁抵抗値を測定します。1M Ω 以上かどうか確認します。
耐電圧試験	電源ラインと保護アース端子間に、機器の定格供給電圧の2倍、または1000Vのより大きい方の電圧を1秒間印加します。

CEマーキング、欧州機械指令、リスクアセスメントもお気軽にお問合せください。

**ASSIST
ACE**

アシストCE株式会社

<http://www.assistce.co.jp>

〒143-0011 大田区大森本町1-9-7-101

担当：渡辺 まで、お気軽にご連絡ください。

メール：assistce@assistce.co.jp

電話：050-5897-7576